

【秦野市】令和2年度 森林環境譲与税に関する使途詳細

(3)市町村名	(4)事業区分	(5)事業名	(6)事業総額(千円)	(A)うち令和2年度の森林環境譲与税(千円)	(B)うち基金取崩額(千円)	(C)うち他の財源(千円)	(7)事業内容	実績	
								数量等	実施場所
秦野市	⑯ その他(木材・普及啓発関係)	柳川生き物の里木道補修整備事業(生き物の里保全事業費)	500	500	0	0	里山の生態系を保全し、活用することを目的とした自然観察施設「生き物の里」に設置されていた木道の老朽化が進行していたことから、新たな木道の整備を実施した。整備に当たっては、地元自治会や協力団体の任意の参加により実施した。	1回30人 木道の材となる木の板は杉板45mm×105mm×4,000mmを60枚活用	柳川生き物の里
秦野市	③ 私有林整備	里山ふれあいの森づくり事業	677	677			里山ボランティア団体が森林の整備を実施するとともに、整備している事業地において里山に関する普及啓発、ふれあい活動を実施し、放置竹林の整備に対する補助事業を創設。	竹林整備面積2.01ha 普及啓発、ふれあい活動70件、336人	市内6か所 里山ボランティア団体活動地など
秦野市	⑯ その他(木材・普及啓発関係)	地場産木材活用推進事業	1,240	1,240			森林環境譲与税の導入により、都市部を中心に木材の利用が見込まれる中で、秦野産木材を使用してもらうため、その品質や性質を調査し、他材との差別化を図りPRする。	木材強度試験1件	-
秦野市	⑤ 森林保護対策	病害虫防除事業	1,494	1,494			カシノナガキクイムシを媒介とするナラ枯れ菌によるコナラ等へのナラ枯れ被害の防除を実施する。	伐採処理本数49本	震生湖周辺 くずはの家
秦野市	⑯ その他(木材・普及啓発関係)	震生湖散策道ウッドチップ整備事業	1,161	1,161			自然環境を保全するとともに、来訪者の安全確保及び快適性向上を図るため、湖畔散策道への秦野産材を利用したウッドチップ舗装工事を行うもの。	1施設64㎡	震生湖周辺
秦野市	⑰ 基金積立(森林整備等)	ふるさと里山整備事業	16,760	16,760			翌年度以降の里山林整備事業に活用するため留保(令和3年度への繰越)	-	-